# 人権だより　令和４年度　第６号　令和４年９月　市川市立第四中学校　人権部会

日本における令和４年度の人権啓発重点目標

**『誰か』のこと　　じゃない。**

## 相手のことを考えた言葉を使ってみよう。

## ⇒　相手の立場に立つ想像力を養おう

　ＡさんとＢさんは友達です。今日は一緒に遊びに行く約束をしました。Ａさんは待ち合わせの時間に間に合うように家を出発しました。ところが、さいふを忘れたことに気づき、あわてて家に戻り、一生懸命走りましたが待ち合わせの時間に２０分遅刻してしまいました。Ｂさんは待ち合わせ場所に早めに来ていたのですが、、、。あなたがＢさんの立場だったら息を切らせているＡさんになんて言いますか？

　Ｂさんパターン１『おっせーな！！（怒）おまえはだいたい何でも時間にルーズなんだよ！』

　Ｂさんパターン２『寝坊したんでしょ？まぁいいよ。俺は心が広いから～。』

　Ｂさんパターン３『いやー、心配したよ～。事故にでもあったんじゃないかってさ。』

　さて、あなたはどのパターンが多いですか？また、この中で、今後の友人関係が一番うまくいきそうな声かけはどのパターンでしょうか？
　ここで『相手の立場に立って』考えてみましょう。皆さんは遅刻をしてしまったＡさんの立場になってみると、どのように言ってもらえれば、さいふを忘れたという失敗を取り返そうと頑張って走ったことが報(むく)われますか？『相手の頑張りなんて、見ていなければ、わからない』という人もいると思いますが、誰だって『陰(かげ)の自分の頑張り』を認められたらうれしいのではないでしょうか。

　このようなケースの場合はまず、パターン３のように、最初相手に確認してあげる優しさがあったらよかったですね。誰だって、いきなり頭ごなしに言われたら、カチンと来てしまい、それが原因でせっかくの関係が壊れてしまうかもしれません。**どんな時でも相手の立場に立って考えてみましょう。**そんなに時間はかからないことですし、**余計なトラブルを防止**することにもなるし、また何より、**そういう優しい行動は自分に返ってくるもの**なのです。**『情けは人のためならず』**

※情けは人の為ならずとは、人に対して優しい行為をすれば，巡り巡って自分に良い報いが返ってくるという意味で使われている言葉です。決して、人のためにならないから、助けてはいけないという意味ではありません。